

- 問1 第一次世界大戦が始まった1914年から、終結直後の1919年にかけて、日本の工業生産額は約31億円から約119億円へと急増しました。この時期の日本の産業の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 生産総額が大きく伸びる中で、重化学工業が占める割合が12.5パーセントから18.3パーセントへと拡大した
 2. 欧米諸国への輸出が完全に停止したため、国内向けの重化学工業製品のみを生産するようになった
 3. 工業化による労働力不足を補うため、政府は農業の生産総額を工業よりも優先させる政策をとった
 4. 重化学工業の発展にともない、それまで日本の輸出を支えていた繊維工業などの軽工業は衰退した
- 問2 19世紀末から20世紀前半にかけて、都市化の進展や教育の普及を背景に、多くの人々が共通の娯楽や情報を享受する「大衆文化」が発展しました。この時期の日本において、1925年に放送が開始され、新聞や雑誌とともに新しい情報の伝達手段として大きな役割を果たしたものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. インターネット
 2. テレビ放送
 3. ラジオ放送
 4. 衛星放送
- 問3 20世紀初頭の日本の外交関係と、それに伴う出来事の説明として正しいものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 日露戦争の講和内容を不服とした人々が起こした日比谷焼打事件は、韓国併合の直後に発生した。
 2. ベルサイユ条約の結果として、日本はロシアから北緯50度以南の樺太（サハリン）を譲り受けた。
 3. 1910年に韓国併合が行われ、現地を統治する機関として朝鮮総督府が置かれた。
 4. 第一次世界大戦を終結させたベルサイユ条約の締結後に、中国に対して二十一か条の要求を行った。
- 問4 大正時代に作成された「社会運動の広がり」をまとめた資料において、農民運動の状況について述べた文章として、歴史的背景を踏まえた正しい記述を選びなさい。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 政府による地租改正に反対する農民たちが各地で一揆を起こし、土地の所有権の確立を求めた。
 2. 都市部での米不足による米騒動を鎮圧するため、政府が公害対策基本法を制定して農村の保護を図った。
 3. 労働組合を法的に公認する法律が制定されたことを受け、農民も独自に政治団体を組織した。
 4. 小作争議の増加を背景に日本農民組合が結成され、農民の地位向上を目指す運動が全国的に広がった。
- 問5 第一次世界大戦の終結時における、敗戦国の状況や国際情勢の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. アメリカ合衆国は当初ドイツ側で参戦していたが、のちに連合国に加わったため敗戦による領土割譲を免れた。
 2. ドイツは同盟国側として参戦して敗北し、戦後のベルサイユ条約によって領土の縮小や多額の賠償金を課された。
 3. スイスはドイツの呼びかけに応じて参戦したが、連合国の圧倒的な物量の前に敗北し、国際連盟への加盟を禁止された。
 4. オーストリアはフランスやイギリスとともに連合国を構成していたが、戦争途中で社会主義革命が起きたため敗戦国となった。
- 問6 大戦景気による社会の変化を描いた当時の有名な風刺画があります。その画の中で、暗い玄関先で靴を探すために百円札に火をつけて明かり代わりにする男性が描かれている理由は、どのような社会背景を象徴していますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
1. 戦争による電力不足が深刻化し、都市部でも灯りが一切使えなくなったため
 2. 短期間で急激に富を得た成金による、過剰で派手な贅沢ぶりを皮肉るため
 3. 財閥の当主が、自らの権力を誇示するために貴族院での演説を準備している様子を表すため
 4. 激しいインフレーションによって紙幣の価値が暴落し、燃料としてしか使えなくなったため
- 問7 1918年に富山県の沿岸部から始まり、全国へと広がった「米騒動」が起こった主な背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. ロシア革命への干渉を目的としたシベリア出兵を見越し、商人たちが軍用米を買い占めたことで米価が急騰したこと。
 2. 政府が工業化を優先するために、海外から安価な輸入米を大量に持ち込み、国内の米の流通が混乱したこと。
 3. 地主から土地を借りて農業を営む小作人が、地主に対して小作料の引き下げを求めて全国で争議を激化させたこと。
 4. 第一次世界大戦による大戦景気が終わったことで、都市部の労働者の賃金が下がり、相対的に米の価格が高くなったこと。
- 問8 大正デモクラシーの風潮の中で、社会運動が広がりを見せた時期の思想に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 美濃部達吉が、天皇は国家の最高機関であるとする天皇機関説を否定した。
 2. 板垣退助が、民撰議院設立の建白書を提出して藩閥政治を批判した。
 3. 平塚らいてうが、女性の地位向上を目指して青鞥社を設立し社会主義を唱えた。
 4. 吉野作造が、主権の所在にかかわらず民衆の意見を反映させるべきだと説いた。
- 問9 第一次世界大戦中の日本の経済状況と社会の変化について、正しい説明はどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 造船業や海運業などで莫大な利益を上げ、暗い部屋で紙幣を燃やして明かりにするような振る舞いをする「成金」が現れたが、一方で急激な物価上昇も招いた。
 2. 政府が緊縮財政を行ったため、重化学工業の発展は遅れたが、農村部では米の価格が安定し、地主と小作人の格差が縮小した。
 3. ヨーロッパからの輸入が途絶えたことで国内の物資が不足し、深刻なデフレーションが発生して多くの企業が倒産した。
 4. アメリカへの生糸の輸出が完全に停止したことで国内の景気が急速に冷え込み、都市部では失業者が溢れて社会不安が広がった。
- 問10 大正デモクラシーの動きの中で、第2次護憲運動などの影響を受けて1925年に制定された普通選挙法に関する記述として、正しいものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
1. 1918年の米騒動を直接のきっかけとして、加藤高明内閣が制定した
 2. 有権者数は、それまでと比較して約3倍の規模に留まった
 3. 納税による制限の撤廃により、有権者数がそれまでの約4倍に増加した
 4. 満25歳以上の男子に加え、女性にも一部選挙権が認められた
- 問11 1920年代から1930年代の日本において、世界恐慌による不況で困窮した農村部では、土地を借りて耕作する農民が、地主に対して小作料の引き下げなどを求める運動を激化させました。この運動を何と呼びますか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 小作争議
 2. 打ちこわし
 3. 地租改正反対一揆
 4. ええじゃないか
- 問12 近代日本の生活の変化について述べた資料によると、欧米文化が導入される中で、都市部では洋服を身にまといて銀座などの繁華街を歩く人々が増え、新しい生活様式が定着した様子が記されている。このような「大衆文化」が成立した社会的な背景として、最も適切な説明はどれか。 (2020年 滋賀県公立入試 類似)
1. 鎖国が解かれた直後の影響で、横浜や長崎などの開港場を中心に異国情緒あふれる文化が限定的に広まった。
 2. 都市への人口集中や教育の普及により、雑誌や放送メディアを通じて文化を享受する層が拡大した。
 3. 高度経済成長期の到来によって、テレビや電気洗濯機などの電化製品が一般家庭に急速に普及した。
 4. 明治初期の文明開化により、政府の指導で牛鍋を食べる食生活や郵便制度が全国的に整備された。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 生産総額が大きく伸びる中で、重化学工業が占める割合が12.5パーセントから18.3パーセントへと拡大した	第一次世界大戦による「大戦景気」の影響で、日本の工業生産額はわずか5年ほどの間に4倍近くまで急増しました。この際、従来の繊維工業（軽工業）も成長を続けていましたが、それ以上に鉄鋼業や造船業、化学工業といった重化学工業の成長が著しく、産業構造の重化学工業化が進みました。統計上でも、工業全体に占める重化学工業の割合が1割強から2割弱へと明確に上昇していることが読み取れます。
問2	答え 3 ラジオ放送	大正時代から昭和初期にかけて、都市部で働くサラリーマン（事務系労働者）や女学生が増加し、教育の普及によって多くの人々が文字を読めるようになったことで、新聞や雑誌といった印刷メディアが普及しました。さらに、1925年にはラジオ放送が開始されたことで、音声を通じてニュースや娯楽がリアルタイムで全国に届けられるようになり、人々の生活様式に大きな影響を与えました。テレビ放送の普及は第二次世界大戦後の高度経済成長期のことです。
問3	答え 3 1910年に韓国併合が行われ、現地を統治する機関として朝鮮総督府が置かれた。	日本は1910年に大韓帝国を併合し、植民地支配を強化するために朝鮮総督府を設置しました。二十一条の要求はベルサイユ条約（1919年）よりも前の1915年に行われています。日比谷焼打ち事件や樺太の割譲は、1905年のポーツマス条約に関連する出来事であり、時期や条約の名称が異なります。
問4	答え 4 小作争議の増加を背景に日本農民組合が結成され、農民の地位向上を目指す運動が全国的に広がった。	大正デモクラシーの時期は、護憲運動などの政治改革だけでなく、権利を主張する社会運動が活発化したことが特徴です。農村では、高い小作料に苦しむ農民が団結して小作争議を行い、日本農民組合という全国組織を通じて組織的に地主と交渉するようになりました。選択肢にある「地租改正反対一揆」は明治時代初期、「公害対策基本法」は高度経済成長期の出来事であり、時代背景が異なります。
問5	答え 2 ドイツは同盟国側として参戦して敗北し、戦後のベルサイユ条約によって領土の縮小や多額の賠償金を課された。	第一次世界大戦で敗れたドイツは、1919年に結ばれたベルサイユ条約により、すべての植民地の放棄、一部領土の割譲、軍備の制限、そして莫大な額の賠償金の支払いを義務付けられました。オーストリアは連合国ではなくドイツ側の同盟国として参戦し、戦後に帝国が解体されました。アメリカ合衆国は1917年に連合国側で参戦し、戦勝国となりました。また、スイスは中立を維持していたため敗戦国ではありません。
問6	答え 2 短期間で急激に富を得た成金による、過剰で派手な贅沢ぶりを皮肉るため	和田邦坊によって描かれたこの風刺画は、第一次世界大戦中に急増した「成金」の姿を象徴しています。当時の百円札は現在の価値に換算すると数十万円にも相当する非常に高額なものでしたが、それを燃やして「どうだ明るくなったろう」と言う場面を描くことで、成金たちの節操のない贅沢や成金趣味を鋭く批判しています。
問7	答え 1 ロシア革命への干渉を目的としたシベリア出兵を見越し、商人たちが軍用米を買い占めたことで米価が急騰したこと。	第一次世界大戦中の1917年にロシア革命が起こると、日本政府はこれに干渉するためにシベリアへの出兵を決定しました。この軍事行動を見込んだ商人たちが、戦地で必要となる軍用米を買い占めたため、市場に出回る米が不足し、米価が異常に高騰しました。これに苦しんだ富山県の漁村の女性たちが、米の県外への積み出しを阻止しようとした行動が、全国的な米騒動のきっかけとなりました。
問8	答え 4 吉野作造が、主権の所在にかかわらず民衆の意見を反映させるべきだと説いた。	大正時代には、吉野作造による民本主義の提唱により、政治に民衆の声を反映させようとする動きが強まりました。吉野は、主権が誰にあるかという憲法上の議論とは切り離して、実際の政治運営において民衆の意向を尊重することを重視しました。選択肢にある美濃部達吉は天皇機関説を「提唱」した人物であり、板垣退助は明治時代、平塚らいてうは女性解放運動の人物であるため、吉野の民本主義の説明としては民衆の意見反映を説いたものが正解となります。
問9	答え 1 造船業や海運業などで莫大な利益を上げ、暗い部屋で紙幣を燃やして明かりにするような振る舞いをする「成金」が現れたが、一方で急激な物価上昇も招いた。	大戦景気によって、特に海運業や鉄鋼業などの分野で短期間に巨万の富を築いた「成金」と呼ばれる人々が登場しました。当時の風刺画には、玄関で靴を探すために百円札を燃やして明かりにする成金の姿が描かれるほどでした。しかし、好景気一方で紙幣の発行量が増えたことや需要の増大により、米などの生活必需品の価格が急騰し、一般庶民の生活は苦しくなりました。
問10	答え 3 納税による制限の撤廃により、有権者数がそれまでの約4倍に増加した	普通選挙法は、第2次護憲運動を受けて成立した加藤高明内閣のもとで、治安維持法と同時に制定されました。この法改正によって、納税額に関係なく満25歳以上の男子全員に選挙権が認められた結果、有権者数は約310万人から約1,240万人へと約4倍になりました。1918年の米騒動は原敬による本格的政党内閣の成立の背景であり、直接のきっかけではありません。
問11	答え 1 小作争議	大正末期から昭和初期にかけて、経済不況により農村の生活は非常に苦しくなりました。収穫した農作物の半分近くを地主へ納める高い小作料が農民の負担となっており、その減免を求めて団結して地主と交渉する「小作争議」が急増しました。1922年には日本農民組合が結成されるなど、運動は組織化されましたが、依然として苦しい生活が続いたことがブラジルへの移住を決意する大きな要因の一つとなりました。
問12	答え 2 都市への人口集中や教育の普及により、雑誌や放送メディアを通じて文化を享受する層が拡大した。	大正時代から昭和初期にかけては、都市部に住む事務員（サラリーマン）や教員といった「新中間層」と呼ばれる人々が増加した。彼らは一定の教育を受け、雑誌、ラジオ、映画などの新しいメディアを通じて情報を共有したため、特定の地域や階層に限られない全国的な大衆文化が形成される要因となった。明治初期の文明開化が「上からの近代化」であったのに対し、この時期の変化は市民の生活基盤の向上に基づいている。